

上手な運転のしかた

上手な運転とは、何よりもまず安全に車を運転することです。決して高度の技術を要する運転を言うものではありません。安全運転とは車の性能を十分認識し、あなたの今までの運転経験を生かして法令にしたがって秩序よく、最も有効的に車をお使いいただくことです。それが結局は事故防止に役立つと共に車を長持ちさせることにもなります。安全運転のために、この項目を役立ててください。

ブレーキ、クラッチの使いかた

■ブレーキ

ブレーキ・ペダルは、2・3度に渡って踏むとより安定した制動が得られます。また、早目に後続車に知らせることもなります。

長い下り坂では、ブレーキを踏み続けるのをやめエンジン・ブレーキを活用しましょう。ブレーキを踏み続けると、ペーパー・ロックや、フェードを起こし、ブレーキが効かなくなることがあります。ペーパー・ロックとは、ブレーキ・フルードが加熱されて、沸騰し泡が発生すると、ブレーキ・ペダルを踏み込んでも、気泡を圧縮するだけで、ブレーキ力とはならない現象をいいます。

フェードとは、ブレーキの摩擦面が、加熱されると摩擦が急激に低下し、摩擦力が減るので同じ力でブレーキ・ペダルを踏んでもブレーキの効きが、悪くなる現

象をいいます。

■クラッチ

ギヤ・シフトはクラッチ・ペダルを十分に踏んでから行ないましょう。

走行中、クラッチ・ペダルに足を乗せないようにしましょう。クラッチの不具合の原因になります。

エンジンを長持ちさせるために

★定期点検整備は定められた通りおこないましょう。

★無理な運転は避けましょう。特に新車から5,000kmぐらいまでは控え目な運転をしてください。

★エンジンをオーバーランさせないために、各シフト・レバーの位置での速度は表の数値を越えないように運転してください。

エンジン型式 ミッション類	16 R			18 R				18 R - B			18 R - BR		
	3M-C	4M-F	3A-C	3M-C	4M-F	3A-C	3A-F	4M-F	5M-F	3A-F	4M-F	5M-F	3A-F
1速	45	40	60	45	40	60	60	45	45	65	45	45	65
2速	95	75	100	95	75	100	100	80	75	110	85	75	110
3速	/	110	/	/	110	/	/	120	105	/	120	105	/
4速	/	/	/	/	/	/	/	/	145	/	/	145	/
5速	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

エンジン型式 ミッション類	18 R - E			M		M - B			M - BR			M - E		
	4M-F	5M-F	3A-F	4M-F	3A-F	4M-F	5M-F	3A-F	4M-F	5M-F	3A-F	4M-F	5M-F	3A-F
1速	45	45	65	45	65	45	45	70	45	45	70	50	50	70
2速	75	75	110	75	100	80	75	110	80	75	110	80	80	110
3速	115	105	/	115	/	120	105	/	120	105	/	120	120	/
4速	/	145	/	/	/	/	145	/	/	145	/	/	155	/
5速	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

経済的な運転

★エンジンが冷えていると熱効率が悪いので十分ウォーミング・アップをしましょう。

★エンジン回転数と車速をマッチさせたギヤ・シフトをしましょう。
(除くオートマチック・トランスミッション車)

★急停車、急発進はできるだけ避けましょう。

★停車中の半クラッチは避けましょう。

★不必要にスピードの上げ下げをしないようにし、できるだけ一定の速度で走りましょう。

★不必要な高速運転はやめましょう。

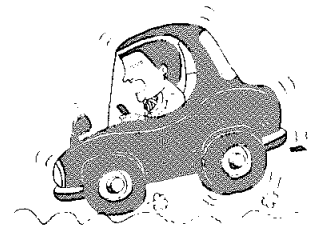
★エンジン型式にあったガソリンを入れましょう。

悪路走行

★ぬかるみ・砂地・ジャリ道ではスピードを落とし不必要な変速、急ハンドルは極力しないようにしましょう。

★凸凹道で凸凹を避けられないときは片輪だけを凸部にのせるようにして走行しましょう。

★悪路走行後は、走行装置の点検をしましょう。



■雪路・凍結路で車が横すべりを始めたとき

急ブレーキを踏むと横すべりがひどくなりますのでエンジン・ブレーキを使ってください。

横すべりを始めた方向へハンドルをきって進路をたて直しましょう。

■高速走行中、横風を受けたとき
ハンドルをしっかりもち急ブレーキは踏まないようにしましょう。スピードも落してください。

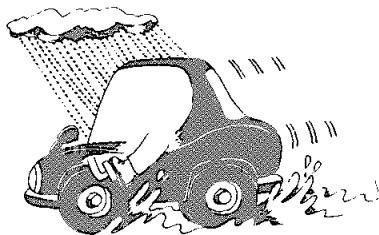
高速道路を走行するときは、風の強さに気をつけましょう。



■降雨時、水たまり走行後ブレーキが効かなくなったとき

控え目のスピードで走行し、ときどきブレーキ・ペダルを踏みながらブレーキ内に入った水を早く乾燥させます。

■雨の日のブレーキは
タイヤがすべりやすくなりますから早目に踏みましょう。



■ガソリンを吸いこみすぎのとき
しばらく時間をおいてかけ直します。あるいは、アクセル・ペダルをいっぱい踏みこんだままスターターをまわします。ただし、連続で15秒以上はまわさないでください。

■バッテリーあがりのとき
マニュアル・トランスミッション車
エンジン・スイッチをONにしてギヤをセカンドまたはサードに入れクラッチを踏んだ状態で車を押すか、けん引してもらいます。

スピードが10km/hくらいになったとき、クラッチをゆっくり離します。エンジンがかかったらすぐクラッチを踏み、ギヤをニュートラルにします。

オートマチック・トランスミッション車
エンジン・スイッチをONにしてコントロール・レバーを①に入れ、車をけん引してもらいます。スピードが30~40km/hでエンジンがかかります。エンジンがか

かったら、レバーを②に入れます。
(MX系車のみ)

■注意

1. けん引によるエンジン始動後はけん引車に追突しないように特に気をつけてください。
2. RX系オートマチック・トランスミッション車は、けん引して始動することはできませんので、バッテリーをかえて始動してください。